

## 大豆づくりの助っ人登場

～ 農業研究センター豆類栽培生理研究室の「大豆を作ろう」Home Page ～

平成9年産の大豆作付が8万3千ヘクタールだったものが、11年産では11万8千ヘクタールにまで増加したことや本年は大豆の本格的生産に向けた取組が各地で活発に行われていることを考えると、今年産の大豆作付農家のうち相当の割合の方が、初めて大豆を作付されたか又は大豆の栽培経験が比較的浅いのではないかと考えられます。

このような農家の方々は、大豆を播種してはみたものの、これから先の栽培管理をどうしようとか、高い単収を実現するにはどのような栽培管理をすればいいのかなど技術的に不安な面が多いのではないかと思います。今回はこのような農家の力強い味方となれるホームページをご紹介します。

農林水産省の組織の中で、唯一大豆の栽培生理の研究を専門に行っている研究室が茨城県つくば市にあります農林水産省農業研究センター豆類栽培生理研究室です。

この研究室で作成している「大豆を作ろう」Home Page（ホームページアドレス：<http://daizuweb.job.affrc.go.jp>）では、大豆という作物の紹介や大豆品種の紹介のほかに「大豆栽培、ここがポイント」という特集を組んでいます。

この特集では、圃場の準備、播種・出芽、栄養生長、除草、中耕・培土、不耕起栽培、開花結実、養分吸収、病虫害、収穫・調製について解説がなされており、これからの管理作業である、中耕培土、開花期かん水、開花期追肥、病虫害防除、収穫等について一般の農家の方にも分かりやすい言葉で説明がされています。

現在、農家の方が大豆栽培の参考にされている栽培暦等の栽培マニュアルは、この時期にこのような作業がこの程度必要ですということは書かれていても、どのような状況でその作業の効果が発現するのか、どの程度の効果が見込まれるのか、逆効果の場合はないのか等踏み込んだ解説はあまりされてきませんでした。

このホームページは研究室のページらしく、それぞれの作業について一步踏み込んだ解説もなされており、農家のみならず、農家を指導する立場の普及員、営農指導員や都道府県試験場の研究員の方にも是非ご覧頂きたいと考えています。

---

発行：不定期

発行元：農林水産省畑作振興課 豆類班 tel 03-3502-8111（内線 4318、4319）

・記事や大豆生産振興に関する御質問・御感想など、御自由にお寄せください。

・記事を転載される場合は、御一報ください。

・<URL> <http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/hatashin>